

予 防 接 種 の す す め

川崎市医師会保育園医部会

お母さんから赤ちゃんに受け継がれた病気に対する抵抗力(免疫)は、成長と共に自然に失われていきます。そのため時期が過ぎると、赤ちゃん自身で免疫を作って病気を予防する必要が出てきます。これに役立つのが予防接種です。

感染症の中には一度かかると死亡や後遺症のリスクが高く、治療法のない病気もあります。保育園は集団生活の場ですので、感染の機会が多い場所です。ワクチンが自分の体を守るだけでなく、免疫が弱いなどの理由で予防接種を受けられないお子さん達を、集団で守る事にもなるのです。なるべく早期に予防接種を受けるよう努めましょう。

四種混合ワクチン(不活化ポリオ、ジフテリア、百日咳、破傷風)、三種混合ワクチン(ジフテリア、百日咳、破傷風)、二種混合ワクチン(ジフテリア、破傷風)、不活化ポリオワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、MR混合ワクチン(麻疹、風疹)、水痘ワクチン、日本脳炎ワクチン、BCG、B型肝炎ワクチン、及びロタウイルスワクチン※は予防接種法により公費(無料)で受けることができます。(接種年齢は、決められています。)

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)及びインフルエンザは任意の予防接種で有料となります。

わからない事などがございましたら、かかりつけの医療機関、保育園医または保育園にいつでも御相談ください。

※ ロタウイルスワクチン…定期接種の対象は 2020 年 8 月 1 日以降に生まれた 0 歳児